

静岡合併後10年間の まちづくりについて

H15.4~H25.3



目 次

1	はじめに P 1
2	「新市建設計画」を踏まえた新市のまちづくり P 2
3	「新市建設計画」登載事業の実施状況	
	(1) 10年間の成果について P 2
	(2) 未着手事業について P 8
	(3) 合併特例債の活用について P 8
4	おわりに P 8
	【資料編】	
	(参考) 広報「静岡気分」平成25年10月15日号より抜粋 P 10
	「新市建設計画」登載事業実施状況一覧（平成25年3月31日現在） P 12





1 はじめに

平成15年4月1日、先人たちから受け継いだ地域の歴史的課題であった旧静岡・清水両市の合併が実現し、面積は国内最大(※)、人口は全国第15位(※)の新たな「静岡市」が誕生しました。

その後10年間で、新「静岡市」は蒲原町、由比町との合併や、県内初の政令指定都市への移行、自治基本条例の制定などを行い、自主・自立的な都市経営を行うための基盤を整備することができました。

また、それぞれのまちの歴史・文化的背景などへの相互理解が進む中で、静岡と清水の安定給水のための水の相互運用事業の実施、ごみ処理問題の解消、小中学校校舎・体育館の耐震工事の加速化など、市域全体の均衡ある発展を図り、新市の一体化を推進することができました。

これらのことが実現したのは、合併前に「新市建設計画」の策定等を行って合併後のまちづくりに備え、新市においてもこの計画等を尊重したまちづくりを実施してきたことによります。

※ 合併当時の状況

2 「新市建設計画」を踏まえた新市のまちづくり

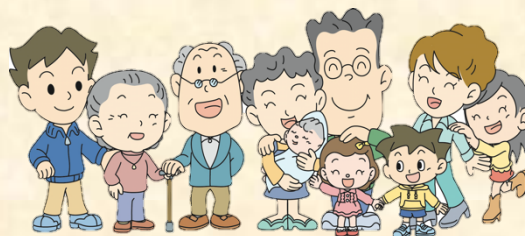
合併後の新市のまちづくりについては、合併前に、静岡市・清水市合併協議会で「新市建設計画」を策定しました。

「新市建設計画」は、平成15年度から平成24年度までの10年間の計画期間で、新市建設の基本方針や基本方針を実現するための施策等で構成され、新市が実施する主要な事業として78事業(※)が位置づけられています。

合併後は、直ちに、まちづくりの最高指針となる総合計画の策定を、「新市建設計画」等を踏まえながら行いました。

そして、「第1次静岡市総合計画」が平成17年4月1日からスタートし、本格的な新市のまちづくりに着手しました。

※ 当初は79事業でしたが、「新庁舎、危機管理センターの建設」事業は、政令指定都市移行に伴う区役所の設置等を踏まえた事務体制の見直しにより、新庁舎建設の必要性がなくなったこと、県立新体育館の東静岡地区への誘致を行う必要が生じたことから、平成20年度に市議会の議決を経て削除され、78事業となりました。



3 「新市建設計画」登載事業の実施状況

(1) 10年間の成果について

新市建設計画に掲げた78事業のうち、約8割に相当する64事業(事業費約3,670億円)が完了もしくは推進中となりました。

(平成25年3月31日現在)

【施策体系別実施概要】

1 人と地球に優しい快適生活環境の実現

旧清水清掃工場老朽化への対応のため「清掃工場の建設」として西ケ谷清掃工場を再整備し、新市全体の効率的な廃棄物処理を実現しました。

また、水の相互運用事業等の「上水道整備」による旧静岡・清水双方での安定給水の推進、子どもから大人までが動物の生態を分かりやすく楽しく見学できる「日本平動物園の再整備」、静岡の歴史・風土を生かした全国に誇ることのできる「駿府（城）公園再整備」などを行い、新市市民が快適に生活できる環境を整えました。

【14事業中13事業が完了または推進中】

清掃工場の建設（西ケ谷清掃工場）



日本平動物園の再整備

上水道整備「水の相互運用事業」
（柏尾配水池）



駿府(城)公園再整備



2 市民が安心して活躍できる人間福祉の充実

「北部地域保健福祉エリア（城東保健福祉エリア）」として、国立病院の跡地に保健・福祉サービスを総合的に提供する拠点を整備しました。

また、「市立静岡病院の整備」による老朽化していた病院の建替えと機能強化、「山間地医療体制の充実」による清水区両河内地区への診療所の設置などを行い、新市の保健、福祉、医療環境の充実を図りました。

【10事業中7事業が完了または推進中】



3 人格を高める文化創造と教育の充実

「登呂遺跡の整備」による新市の貴重な歴史文化の継承や、「オペラハウス」の建設（清水市民文化会館の建て替え）による、賑わいと文化の発信拠点の整備を行いました。

また、「教育施設の整備」により小・中学校の耐震化を完了させ、子どもたちが安心して学校生活を送れるようにするなど、地域に根ざした文化の創造と教育環境の整備を図りました。

【13事業中8事業が完了または推進中】

オペラハウス（マリナート）



教育施設の整備



登呂遺跡の整備

4 新市全体の均衡ある発展のための多核型都市の形成

JR静岡駅前紺屋町地区や港町第二地区等の「市街地再開発事業」により、静岡都心、清水都心における高次都市機能の集積を図りました。

また、「JR静岡駅前広場整備事業」、「JR清水駅西地区区画整理事業」により、静岡都心、清水都心の交通結節点となるJR駅前広場等を整備して、魅力的な「まちの顔」づくりを行いました。そして、「主要幹線道路の整備」により、都市活動を向上させる都市内交通の充実強化を図るなど、140万余の大都市圏を形成する中枢拠点都市にふさわしい、地域の特性を活かした多核型都市の形成を図りました。

【27事業中22事業が完了または推進中】



5 人、物、情報が活発に行き交う独自の中枢経済圏域の確立

「産業振興プランの策定」により新市の地域資源を最大限に生かした産業振興方策を定めてこれに取り組むとともに、「日本平の総合的整備」により、富士山を主景とした様々な景観により感動が広がる日本一の展望公園づくりを進めました。

また、新市が有する広大な森林資源や林業に対する市民理解を深めるための「市民の森建設」などを行い、新市の産業集積や恵まれた自然環境等を活かした、独自の中枢経済圏の確立を図りました。

【8事業全てが完了または推進中】



6 市民満足のための高次・高質な行政の推進

「事務事業・政策評価システムの整備」により行政の透明性を高めるとともに、コミュニティ事業への補助等の「コミュニティづくり」などを行い、市民と行政の相互の信頼と適切な役割分担によるパートナーシップの確立を図りました。

【6事業全てが完了または推進中】



(2) 未着手事業について

「新市建設計画」に掲げた78事業のうち、約2割に相当する14事業が、合併後の状況の変化などにより、事業化が困難になったり、事業の見直しが行われ未着手となりました。（平成25年3月31日現在）

（事業例）

「わんぱくドームの建設」、「スノーボード練習場の整備」、「バーチャル水族館」

(3) 合併特例債の活用について

合併特例債は、「新市建設計画」に基づく事業に要する経費等について、合併した年度およびこれに続く10年度に限り借り入れができ、その返済額の70%が、後年度の地方交付税(※)の計算に算入される有利な地方債です。

本市においては、平成15年度から平成24年度までの10年間で、総額約558億円を発行し、「新市建設計画」に基づく事業の推進に当たって積極的に活用してきました。

※ 地方交付税…地方が等しくその行うべき事務を遂行することができるように国が交付する税

4 おわりに

本市は、合併後10年間のまちづくりによって、「政令指定都市としての基盤整備」や「新市の一体化」という本市の礎を築き、さらなる飛躍に向けたスタートラインに立つことができました。

今後は、中部横断自動車道など、交流人口増加を促進させる大規模社会資本整備が進む中で、本市が持つ豊かな自然や歴史遺産、特産品などの地域資源をより価値あるものにみがかあげ、世界中から人を集めるとともに、住む人が安心、安全に生活を送れるようにして、「世界水準の都市」を形成してまいります。

そして、この実現に向けては、行政だけでなく官民一体となった、「オール静岡」の体制のもとで取組を進めます。



～資料編～





祝! 新静岡市誕生10周年

静岡市と清水市が合併して10年がたちました。
その間、さまざまな取り組みがなされました。
新静岡市の10年間のあゆみを振り返ってみましょう。

問合せ 企画課 ☎221-1287



田辺 信宏

静岡市長

静岡市は、合併してからの10年間で「政令指定都市としての基盤整備」や「新市の一体化」という本市の「礎(いしづえ)」を築くためのまちづくりを行ってきました。

市民の皆さんが安心して暮らせるように、あるいは、世界で存在感を発揮していくために進めてきたこれらのまちづくりの中には、合併したからこそ取り組めたもの、取り組みが進んだものがたくさんあり、中には普段の生活では気づきにくいものもあります。

市民の皆さんには、ぜひ合併の成果を知っていただき、本市のさらなる発展のために、今後のまちづくりと一緒に進めていきましょう。



水の相互運用事業(南部ルート)

水道の「安心」が増えたよ!

豊かな伏流水と地下水に恵まれている安倍川水系と、雨量の影響を受けやすい興津川水系との間で送水管を繋ぐことによって、旧静岡・清水双方でより一層の安定給水が図られるようになりました。



市立静岡病院の整備

利用しやすく 快適な病院ができたよ!

老朽化が進んでいた市立静岡病院東館の建て替えが完了し、循環器内科、心臓血管外科によるハートセンター、集中治療室(ICU)などの整備や救急外来を拡充。より高度な医療を提供できる病院になりました。



20.9 リーマン・ショック

平成20年7月

19.11

「国際アビリンピック」を開催

19.10

郵政民営化スタート

平成19年3月

19.2

第1回東京マラソン開催

平成18年12月

18.3

蒲原町と合併

17.9

統計開始以来初の自然減(人口動態統計)

17.7

清水庵原球場がオープン

静岡市が14番目の政令指定都市となる

17.3

「愛地球博」開催

16.10

イチローがMLB最多安打記録更新

16.8

アテネ五輪開催

16.3

静岡科学館を「くる」オープン

15.9

「NEW!わかふじ国体」開催

15.4

静岡合併



高山・市民の森の整備

市民の森を整備したよ!

ハイキングや森林浴、バードウォッチングなどを楽しみながら、市が持つ広大な森林資源や林業のことを知ることが出来る施設が完成しました。





**JR静岡駅北口駅前広場、
JR清水駅西口駅前広場の整備**

**自慢したくなるくらい
駅前が綺麗になったよ!**

JRの駅前は、交通結節点としての機能だけでなく、市外からのお客様の多くが一番最初に見る静岡市の「まちな顔」でもあります。おもてなしの「顔」が整備され、静岡市のイメージもだいぶ変わったのではないのでしょうか。



静岡駅北口駅前広場はH20.9完成



写真の西口のほか、H17.4には清水駅東口広場も完成しました

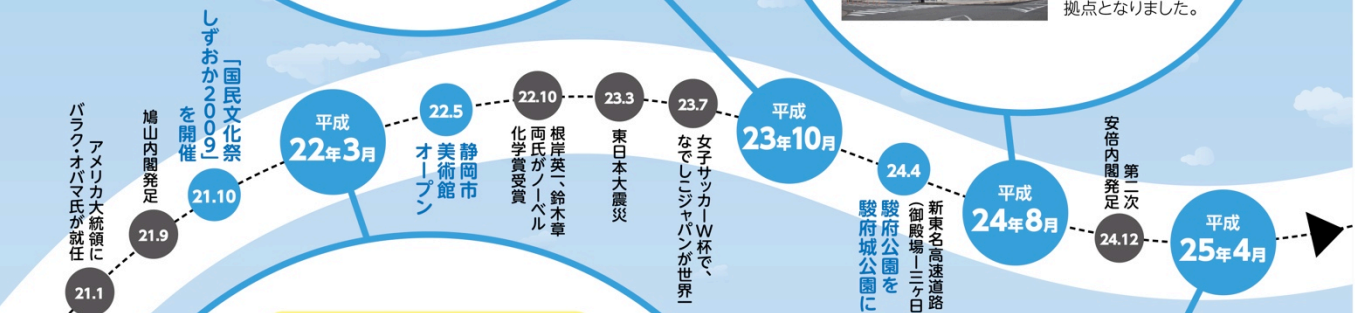


**静岡市清水文化会館
(マリナート)の建設**

**清水駅みなと口(東口)に、
賑わいと文化の発信拠点ができたよ!**



老朽化が進んだ静岡市清水文化センター(平成24年7月閉館)に代わる施設として建設され、静岡市の新しい文化の発信拠点となりました。



西ヶ谷清掃工場の建設

環境に優しい清掃工場をつくったよ!

合併を機に、新市全体のごみ処理経費を考え、旧静岡・清水双方で建替えを検討していた清掃工場を両方建替えるのではなく、環境に優しい新西ヶ谷清掃工場を整備しました。この清掃工場は、ごみ処理の余熱を利用して、隣接する市営プールに熱を送ったり、発電して余った電気を売ったりしています。



教育施設の耐震化

地震に強い学校にしたよ!

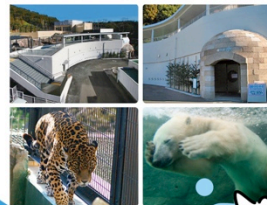
災害に備え、教育施設の耐震化を早急に進める必要があり、合併後スピード感を持って進めてきました。現在は公立幼稚園・小中学校の耐震化が完了し、安心して学校生活を送れるようになっていきます。



日本平動物園の再整備

楽しい動物園にしたよ!

昭和44年にオープンしてから40年以上たち、施設の老朽化が進んでいた日本平動物園ですが、再整備を行い、子供はもとより大人も楽しめる洗練された動物園としてグランドオープンしました。



新市建設計画掲載事業実施状況一覧 (平成25年3月31日現在)

(1) 完了または推進中の事業(64事業)

No.	※1 施策 体系	※2 事業 名	※2 事業 概要	事業の実施状況 (① 完了(完了年度) ② 推進中)	H24度までの 決算累計額 (百万円)
1	環境	清掃工場の建設	廃棄物の安全で適正な処理体制を確立するための清掃工場の建設 用地：8ha(清水茂畑地区) (注)清掃工場の建設地を茂畑地区から西ヶ谷地区に変更し建設完了。現在は、旧管理棟の改修工事を実施中。	②	21,451
2	環境	リサイクルプラザの建設	市民の環境問題に対する意識の高揚を図るとともに、情報交換の場となるリサイクルプラザの整備 建物：400㎡	①(平成23年度)	3,937
3	環境	一般廃棄物最終処分場の建設調査	清掃工場からの焼却灰の処理等のため一般廃棄物最終処分場建設予定地選定等の調査、検討	②	14
4	環境	駿府公園再整備	セントラルパークとして、また、歴史文化を感じさせる公園として駿府公園を再整備 総面積：約18ha	②	1,368
5	環境	日本平運動公園の整備	日本平運動公園におけるテニスコート照明設備、体育館、プールの整備 総面積：16.4ha	②	394
6	環境	池田山リフレッシュパークの建設	都市近郊に残された貴重な自然を有する池田山に、人々が憩い、学び、スポーツをする複合的機能を持つ公園としてリフレッシュパークを建設	①(平成23年度)	2,600
7	環境	日本平動物園の再整備	広域レクリエーション機能を有する日本平動物園のニーズに則したリニューアル整備 整備後面積：21ha	①(平成24年度)	7,143
8	環境	街区公園の整備	市民の身近な生活空間に憩いのスペースを確保するための街区公園の整備 34か所(14ha)	②	3,041
9	環境	墓園の整備	火葬場、墓地等の整備 用地：8ha(清水矢部地区)	②	59
10	環境	上水道整備	生活水の安定供給のための上水道の整備 取水場、配水場、浄水場急速ろ過施設、自家発電設備、管網等の整備	②	22,126

No.	※1 施策 体系	※2 事業 名	※2 事業 概要	事業の実施状況 (① 完了(完了年度) ② 推進中)	H24度までの 決算累計額 (百万円)
11	環境	公共下水道整備	清潔で快適な市民生活を支える公共下水道の整備	②	93,603
12	環境	農業集落排水事業	農村地域の河川浄化推進と生活環境改善を図るための農業集落排水事業 地区：大原、油山、俵沢、俵峰、穴原等 (注)俵峰、穴原等は事業計画廃止	②	3,517
13	環境	危機管理センターの整備	災害発生時に新市全域にわたる防災の総合指揮を行い、市民の生命、財産を守るため、危機管理センターを整備	①(平成20年度)	70
14	福祉	保健・福祉・医療の新ネットワークの整備	病気の予防から治療までを一体的にとらえ最適の機能分担を図るため、保健・福祉・医療の連携強化に向けたネットワークを構築するための調査研究	①(平成20年度)	0
15	福祉	北部地域保健福祉エリア	用地：約2.1ha(国立病院跡地予定地) 施設：保健所、保健福祉センター、心身障害児福祉センター、地域生活支援センター、口腔歯科保健センター、地域子育て支援センター、地域交流センター、リハビリセンター	①(平成17年度)	5,886
16	福祉	市立静岡病院の整備	市立静岡病院東館の老朽化に伴い、新東館を建設、既存建物の改修 新東館 延床：約23,000㎡ 地下1階地上13階建てSRC造 既存西館の内外部改修、既存北館の耐震補強工事、東館解体	①(平成21年度)	12,440
17	福祉	東部急病センターの整備	清水地域東部の救急医療体制の充実のため東部急病センターを整備 用地：1,000㎡ 施設：RC、延床：800㎡	①(平成24年度)	358
18	福祉	山間地医療体制の充実	山間地における医療体制を充実するため、公設民営方式により診療所を整備	①(平成16年度)	91
19	福祉	子育て支援プロジェクトの推進	1 公立保育園の機能強化 2 民間保育所等施設整備補助金 3 子育て支援センターの整備 4 その他(学校の空き教室の利活用による各種事業の推進)	②	5,641
20	福祉	ボランティア活動センターの整備	場所：静岡都心(40㎡) 業務内容：ボランティアの普及啓発・相談・情報提供、介助ボランティアの活動拠点 運営主体：市社会福祉協議会	①(平成17年度)	858
21	教育	生涯学習の推進と新ネットワークの構築	生涯学習の推進に向けてソフト、ハードのネットワークを構築するための基本方針と推進計画を策定 特に、地域社会における人材の発掘と学習の場を整備し、それらの学校教育、社会教育への活用を検討	①(平成17年度)	1

No.	※1 施策 体系	※2 事業 名	※2 事業 概要	事業の実施状況 (① 完了(完了年度) ② 推進中)	H24年度までの 決算累計額 (百万円)
22	教育	子ども科学館の建設	家や学校でできない体験ができ、生活の中にも多くの科学が存在することに気付かせる理工系科学館の建設 延床：7,000㎡(JR静岡駅南口第二地区再開発ビル内)	①(平成15年度)	9,286
23	教育	子ども冒険広場の建設	自然に親しみ、学び、体験できるキャンプ施設等の野外施設の整備 ハイキングコースの整備等	①(平成19年度)	44
24	教育	教育施設の整備	小学校校舎の耐震補強、体育館、プール、トイレ等の改修整備 パソコン教室整備 中学校校舎の耐震補強、体育館、プール等の改修整備 小学校及び中学校の耐震化は平成21年度完了。その他学校施設の改修整備は継続実施。	②	23,363
25	教育	登呂遺跡の整備	登呂遺跡の再生に向けて再発掘調査を実施し、それに基づく新たな視点や手法からの整備 公園面積：70,000㎡	①(平成23年度)	593
26	教育	総合歴史博物館の建設	郷土の歴史や伝統に関する情報を総合的、体系的に展観できる総合歴史博物館の建設 用地：1ha	②	10
27	教育	羽衣芸術館の建設	羽衣伝説にちなむ資料や芸術品の展示施設の建設 用地：200㎡(三保地区)	②	0
28	教育	オペラハウス	清水文化センターを建て替え、オペラ、バレエ、コンサート、ミュージカルなど多様な舞台芸術に対応できる多目的施設の整備 用地：5ha(清水南部地区)	①(平成24年度)	8,516
29	都市	新都市基本計画の策定	都市計画マスタープラン、新市の外郭及び環状系の交通網をはじめとする総合交通体系を策定。特に、LRTを含めた新交通システム導入、静鉄・JRの鉄道高架事業、シーバス交通網の整備等の検討	①(平成17年度)	34
30	都市	市街地再開発事業 (JR静岡駅南口第二地区)	静岡都心の中枢管理機能の集積 施行区域：約0.7ha 子ども科学館整備予定	①(平成15年度)	2,532
31	都市	市街地再開発事業 (御幸町・伝馬町第一地区)	静岡都心の高次都市機能の集積と都心居住の促進 施行区域：約0.4ha 図書館、産業支援施設整備予定	①(平成16年度)	1,752
32	都市	市街地再開発事業 (JR静岡駅前紺屋町地区)	静岡都心の中枢管理機能の更新 施行区域：約1.05ha	①(平成22年度)	7,516

No.	※1 施策 体系	※2 事 業 名	※2 事 業 概 要	事業の実施状況 (① 完了(完了年度) ② 推進中)	H24度までの 決算累計額 (百万円)
33	都市	市街地再開発事業 (港町第二地区)	清水都心の活性化を図るため、臨海部との回遊性を創造	①(平成18年度)	664
34	都市	市街地再開発事業 (真砂町地区)	清水都心の魅力や賑わいを創出 全体事業計画：5.4ha	①(平成22年度)	801
35	都市	区画整理事業 (小鹿大谷地区)	現東名静岡新インターチェンジを核とした基盤整備 施行面積：100ha	②	186
36	都市	区画整理事業 (JR清水駅西地区)	JR清水駅前広場と駅西地区の都市基盤整備 施行面積：4.1ha 公園、街路、ペDESTリアンデッキの整備、CCボックスの 設置等	②	7,468
37	都市	区画整理事業 (興津第二地区)	道路網の形成と公益施設の配置による健全な宅地の造成	①(平成22年度)	182
38	都市	区画整理事業 (三保東部地区)	三保・折戸地区の一部における基盤整備事業 施行面積：20.7ha	②	2,900
39	都市	JR静岡駅前広場整備事業 (北口広場の拡張整備)	北口広場の拡張再整備 整備面積：17,800㎡	①(平成20年度)	1,747
40	都市	JR静岡駅前広場整備事業 (北口地下空間整備事業)	憩いと潤いのある北口地下空間の整備 整備面積：6,000㎡	①(平成20年度)	3,110
41	都市	JR静岡駅前広場整備事業 (南口公共施設整備事業)	南口(駅前広場等)の拡張整備 整備計画：8,000㎡	②	131
42	都市	東静岡地区新都市拠点整備事業	東静岡地区を新市の都市核のひとつとして形成していくための 基盤整備事業 1 新都市拠点整備事業 施行面積：約86.7ha 2 土地区画整理事業 施行面積：約50.5ha	②	29,010
43	都市	JR清水駅東施設整備事業	清水都心の機能向上のための立体駐輪・駐車場、イベント広 場の整備。中期的には、多目的広場、核施設整備の調査	①(平成16年度)	4,823

No.	※1 施策 体系	※2 事業 名	※2 事業 概要	事業の実施状況 (① 完了(完了年度) ② 推進中)	H24度までの 決算累計額 (百万円)
44	都市	JR草薙駅周辺整備事業	JR草薙駅周辺への高次機能集積のための整備事業 橋上駅舎化、南北自由通路、駅周辺整備	②	271
45	都市	JR安倍川駅整備事業	JR安倍川駅の機能充実とバリアフリー化の推進	②	2,150
46	都市	主要幹線道路の整備(市道)	都市内交通の大宗を占める主要な幹線道路の重点的な整備 第二東名アクセス道、宮前岳美線、丸子池田線、静岡下島線 等	②	60,764
47	都市	第二東名静岡SA周辺地域整備事業	第二東名静岡サービスエリア周辺への新たな地域拠点整備 市道整備、レクリエーション施設、交流施設等	①(平成24年度)	430
48	都市	長大橋の架替等推進調査	都市内交通の円滑化を図るための長大橋架替等の推進調査 安倍川橋、狩野橋の架替のための推進調査 第二東名安倍川橋併設橋の建設推進調査	①(平成23年度)	70
49	都市	山間地環状線の整備(調査)	山間地域間を連絡する環状道路整備のための調査	①(平成18年度)	7
50	都市	サイバーシティの建設	電子市役所を核に、市民生活、産業経済活動を、地域イント ラネット、マルチメディアと各種アプリケーション等により 結んで高度化し、高品質で双方向の各種情報サービスが活発 に行われ、また、透明性の高い簡素で効率的な行政サービス を提供する電腦都市を目指す。	①(平成18年度)	288
51	経済	産業振興プランの策定	産業の融合化・多様化、高度化・高付加価値化をはじめとし た新市の産業振興を図っていくための産業振興プランの策定	①(平成16年度)	10
52	経済	土地改良事業	農業の生産基盤を面的に整備していくための農道や水路等の 建設	②	2,546
53	経済	林道整備事業	林業の生産基盤を整備するため、林道の体系的なネットワ ーク化の推進	②	5,020
54	経済	市民の森建設	静岡地区(1か所) 林業体験の場、自然観察の場、青少年の教育の場として整備 清水地区(1か所) 人と自然の共創を目指し、親しまれる「森林空間」を確保	①(平成20年度)	309

No.	※1 施策 体系	※2 事業 名	※2 事業 概要	事業の実施状況 (① 完了(完了年度) ② 推進中)	H24度までの 決算累計額 (百万円)
55	経済	中心市街地活性化対策の推進	中心市街地活性化法に基づく「中心市街地活性化基本計画」を踏まえ、特定市街地の整備改善と商業等の活性化を一体的に推進	②	431
56	経済	清水港管理体制の検討	清水港管理の新体制に関する調査、研究の実施	②	1
57	経済	日本平の総合的整備	新市の中庭となる日本平を自然環境に配慮しつつ総合的に整備 展望施設、屋内花園の建設等	②	1,140
58	経済	コンベンションシティの創造	財団法人静岡コンベンションビューローによる会議・大会の誘致、開催支援をはじめ、広報宣伝、調査、情報収集等を実施	②	515
59	行政	男女共同参画の促進	活動拠点である女性会館の運営、「男女共同参画推進計画」の実施等を通して、市民の意識づくりや男女がともに社会参加できるシステムを構築	②	944
60	行政	国際化の推進	国際化の推進のため各種事業 国際交流員の配置、外国人住民懇話会の設置、国際交流協会事業の助成等を推進	②	636
61	行政	事務事業・政策評価システムの整備	緊急性や市民ニーズの高い事業を選択し、成果の質や効率性を高め、「市民が心から満足する新市」を実現するため、事務事業・政策評価システムを整備	②	20
62	行政	地域総合窓口の整備	公共施設に市民サービスコーナーを複合させる等により、地域総合窓口を配置 5か所程度	①(平成22年度)	8
63	行政	総合支所の整備	現在の静岡、清水両市役所を総合支所とし、中枢機能の移転に伴うスペースを活用し、NPO、コミュニティ活動団体等の活動拠点等の整備を推進	①(平成21年度)	381
64	行政	コミュニティづくり	コミュニティ事業に対する補助、町内会等集会所の建設等に対する補助等を通して、連帯意識に支えられたコミュニティを育成、強化	②	1,783

(2) 未着手の事業（14事業）

No.	※1 施策 体系	※2 事業 名	※2 事業 概要	未着手理由・現状
1	環境	防災広場・児童遊び場の整備	都市部における公共空間を確保し、防災機能等を有する小規模な防災広場を計画的に配置。併せて、町内会等が設置する「児童遊び場」への助成 (新市建設計画における概算事業費：3,000百万円)	防災広場としての整備ではなく、既存の公園・広場等を避難地として有効活用している。
2	福祉	南部地域保健福祉エリア	用地：約3, 4ha(富士見団地内) 施設：地域福祉センター、リハビリセンター、グループホーム等 (新市建設計画における概算事業費：1,600百万円)	介護保険法の施行などにより、公が担うべき福祉サービスの在り方が変化したことなどから、事業を見直し。
3	福祉	清水地区保健福祉エリア	用地：約1ha 施設：特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、知的障害者施設、グループホーム (新市建設計画における概算事業費：1,000百万円)	介護保険法の施行などにより、公が担うべき福祉サービスの在り方が変化したことなどから、事業を見直し。
4	福祉	保健福祉センターの整備	市民の健康増進と地域福祉の拠点となる地域保健福祉センターを整備する。 清水地域2か所 (新市建設計画における概算事業費：4,500百万円)	清水地域に2か所整備するとしていたが、清水保健福祉センターが地区全域をカバーしていることから、現時点では2か所整備は考えていない。
5	教育	わんぱくドームの建設	子ども達が、体を動かす楽しさ、遊びを通じた人への思いやりを育むとともに、子どもを中心として多世代が交流することで年長者を敬う心を育てる屋内多目的広場の整備 用地：40, 000㎡(清水南部地区) (新市建設計画における概算事業費：6,700百万円)	広大な用地や莫大な建設費が見込まれる。
6	教育	スノーボード練習場の整備	LNGの冷熱を利用したスノーボード場(長さ100m・幅40mの滑走場)の整備 用地：1, 5ha(清水東地区) (新市建設計画における概算事業費：3,000百万円)	競技人口が減少傾向にあり、膨大な事業費が見込まれる。
7	教育	伝統文化交流施設の建設	新市に伝承された貴重な伝統文化、芸能を保存、普及し、地域間交流の推進や情報発信していく施設の建設 用地：2, 500㎡ (新市建設計画における概算事業費：300百万円)	現在検討中の歴史文化施設において、その役割を担う可能性がある。
8	教育	市立スポーツ科学大学・大学院建設調査	用地：20ha(清水地域) 施設：スポーツ健康学科 スポーツ指導学科 スポーツ産業学科 (新市建設計画における概算事業費：1,500百万円)	代替事業として、指導者の登録・紹介制度など、スポーツ活動全般についての効果的なソフト支援を実施している。
9	教育	バーチャル水族館	清水の歴史、文化、海洋などをテーマにしたバーチャルリアリティを体感できる施設の整備 オペラハウスに併設	計画策定当初より情報関連技術は飛躍的に進歩し、誰もがその恩恵を受けることは可能となっていることから、公の施設として設置する必要性は極めて低いものと考えている。
10	都市	区画整理事業 (賤機地区)	第二東名静岡インターチェンジを核とした基盤整備 施行面積：116haのうち48ha先行整備 (新市建設計画における概算事業費：2,600百万円)	地元の合意が形成されない。

No.	※1 施策 体系	※2 事 業 名	※2 事 業 概 要	未着手理由・現状
11	都市	区画整理事業 (美和地区)	自然に調和した良好な住環境整備 施行面積：180haのうち60ha先行整備 (新市建設計画における概算事業費：840百万円)	地元の合意が形成されない。
12	都市	JR東静岡駅新幹線停車化事業 (調査研究等)	東静岡駅へのひかり号の全車停車化とのぞみ号の一部停車化 に向けた調査研究等 (新市建設計画における概算事業費：440百万円)	JR東海との協議の中で、JRから「現時点では、停車は困難」との見解が示されている。
13	都市	JR興津駅橋上駅舎化事業	JR興津駅の橋上駅舎化（橋上駅舎、東西自由通路）に向けた調査、整備 (新市建設計画における概算事業費：4,200百万円)	現在整備中の「草薙駅」、「安倍川駅」の状況や興津駅利用者の状況等を考慮して、検討する予定。
14	都市	JR・静鉄大坪相互駅整備事業	JRと静岡鉄道の相互乗り入れ駅の整備 橋上駅舎、東西自由通路、バスロータリー等の駅前広場整備 (新市建設計画における概算事業費：5,300百万円)	JRからは「需要が見込めないことなどから新駅設置は、困難」との見解が示されたため、可能性がある静鉄大坪駅について継続調査を行っている。

※1 施策体系については次のとおり。

- 環境…「人と地球に優しい快適生活環境の実現」
- 福祉…「市民が安心して活躍できる人間福祉の充実」
- 教育…「人格を高める文化創造と教育の充実」
- 都市…「新市全体の均衡ある発展のための多核型都市の形成」
- 経済…「人、物、情報が活発に行き交う独自の中核経済圏域の確立」
- 行政…「市民満足のための高次・高質な行政の推進」

新市建設計画登載事業の平成24年度までの事業費総額は、約3,669億8,900万円である。

(H25. 3.31時点)

※2 「事業名」「事業概要」欄の記述は、原則として「新市建設計画(平成14年2月)」に記載されている内容である。



お問合せ先

静岡市企画課
静岡市葵区追手町5番1号
054-221-1287

<http://www.city.shizuoka.jp/index.html>